

淀川区を知る—十三の地名の由来—

十三の地名の由来については、2説が有力です。

ひとつは、古代の土地の区画法である条理制によるとされる説であり、西成郡の飛田を1条とし、北へ順に重ねていくと13条が今の十三あたりになります。同じく淀川区内の十八条の由来もそれによります。

もうひとつは、淀川の十三番目の渡し場があったところからとされる説です。

そのほかにも、いくつかの説があります。

『淀川絵巻』木村きよし著 保育社 1988

*ID 0000228823

『角川日本地名大辞典 27 大阪府』角川日本地名大辞典編纂委員会編 角川書店 1983 *ID 0000184865


『東淀川区史』川端直正編 東淀川区創設三十周年記念事業委員会 1956 *ID 0000253623

『大阪地名の由来を歩く』若一光司著 ベストセラーズ 2008 *ID 0011717926

この調べかたガイドでは、淀川区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

ID 大阪市立図書館の「書誌ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

淀川図書館に所蔵しているものは、IDの前に*をつけて表示しています。(*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)

小学生から読めるものはID番号の後に  オムリンマークをつけています。

WEB 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。

より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド:各区版

淀川区の調べかた

淀川区の史跡・名勝・建築

—香具波志神社—

淀川区の伝説—長柄の人柱—

淀川区の人物—沖野忠雄—

淀川区を知る

—十三の地名の由来—



淀川区マスコットキャラクター

ゆめ
ちゃん

大阪市立淀川図書館

〒532-0025 大阪市淀川区新北野1-10-14

TEL 06-6305-2346

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日

10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

淀川区の調べかた

Ver. 2.1 2019.02改訂

淀川区の史跡・名勝・建築—香具波志神社—

959(天徳3)年に創建されたと伝えられる、歴史のある神社です。江戸時代には「加島稲荷」と呼ばれ、大坂、兵庫だけでなく、ずいぶん遠くからも参拝者がありました。

加島には1738(元文3)年銭座が置かれ、ここで作られた銅銭類は質の良いものであったと伝えられています。1744(享保元)年8月の「鑄銭仕用帳」が保存されており、「東淀川区史」にも取り上げられています。

「雨月物語」の作者として知られる上田秋成は、火事で焼け出されたのち、香具波志神社宮司藤家英の助けで1773(安永2)年から三年たらずの間、この地に住んでいました。

大阪市史跡顕彰碑として、上田秋成寓居跡・加島鑄銭所跡と記された石碑が、鳥居の横に設置されています。

境内にはそのほかにも、「楠木正儀駒つなぎの楠」があります。今は切り株の上に社を立てて、「岩木神社」と呼ばれる小さな神社の姿になっています。また、大阪市指定保存樹のくすのきなども見ることが出来ます。

残念ながら、1863(文久3)年建の本殿は、1995(平成7)年の阪神・淡路大震災で倒壊してしまいました。その後、再建されています。

『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986

*ID 0000214926

『淀川区の史跡と伝承』三善貞司編 大阪市淀川区役所 2002 *ID 0010322991

『大阪府全志 巻之3』井上正雄著 清文堂 1985

*ID 0000172308

『東淀川区史』川端直正編 東淀川区創設三十周年記念事業委員会 1956 *ID 0000253623

淀川区の伝説—長柄の人柱—

「雉もなかずばうたれまい」ということわざで有名な「長柄の人柱」伝説ですが、その内容や場所については諸説あります。

淀川区との関係で言いますと、東三国にある大願寺に伝わる「大願寺縁起」に、人柱の話が出てきています。

その縁起によると、垂水の長者・巖氏が天恩に報いるため自ら人柱になり、その娘が悲哀に沈んで物を言わなくなったため里方に戻される途中、垂水の辺りで鳴いた雉子を夫が射たのを見て「物いわじ父は長柄の橋柱 なかずは雉子も射られざらまじ」と詠じたとされています。この詠じた歌についても資料によって語句の異同があり、ここでは「東淀川区史」によりました。

『東淀川区史』川端直正編 東淀川区創設三十周年記念事業委員会 1956 *ID 0000253623

『わが町昔さが誌』三善貞司著 コミュニティ企画 1989 *ID 0000341279

『読みがたり大阪のむかし話』大阪府小学校国語科教育研究会「大阪のむかし話」編集委員会編 日本標準 2005 *ID 0010994902

淀川区の人物—沖野忠雄—

沖野忠雄は、安政元(1854)年に現在の兵庫県豊岡市に生まれました。官費によるフランス留学を経て明治16(1883)年には内務省土木局の勤務となります。その後、大正7(1918)年に退官するまで、河川関係の仕事に携わりました。没年は大正10(1921)年です。彼の経歴については『沖野忠雄と明治改修』に詳しく載っており、顔写真等もあります。『淀川治水誌』の口絵には、沖野忠雄の全身写真が載っています。また、『なにわの人物・再発見』には、淀川工事事務所毛馬出張所に沖野忠雄胸像と淀川改修紀功碑があるとの記述があり、その写真も載っています。

沖野忠雄が土木監督署長として関わった淀川改良工事は、明治29(1896)年に国の河川法が制定され、沖野忠雄の提出した「淀川高水防禦工事計画意見書」がほぼ原案どおりに帝国議会を通過してから始められ、新淀川を開削するなどして、毛馬洗堰が完成する明治43(1910)年までの大工事でした。工事については『淀川百年史』に詳しく記されていて、「淀川高水防禦工事計画意見書」の原文も載っています。

『沖野忠雄と明治改修』土木学会 2010

*ID 0012064166

『淀川治水誌』武岡充忠編著 淀川治水誌刊行会 1931

ID 0000244919

『なにわの人物・再発見』三善貞司編 大阪市東淀川区役所区民企画室企画振興係 2004 *ID 0010778479

『淀川百年史』建設省近畿地方建設局 1974

*ID 0000244962